

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日々楽しく暮らせるようにする		利用者のペースを大事にしている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に掲げ見て認識できるようにしてある。		常に意識して、活かせるようこころがける。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議をとうして理解してもらえよう取り組んでいる。		地域の人たちとの交流をもっと広めていきたい。散歩時。近辺の農作業をしている人たちと話をしたり交流を深める。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の店(卵、米、食材)を利用している。		コンビニがちょうど良い距離にあり手軽に行ける。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の保育園、小学校の行事の参加、夏祭りの参加も毎年楽しみにしている。		老人会とのかかわりをもっていきたいので、今後情報を得たい。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域高齢者のための取り組みはできていない。		今後、対策を考えていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を謙虚に受け止めていく。		評価をもとに向上できるようにとりくんでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容を全職員が閲覧する。	○	全職員がみやすくする。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	南区介護保険サービス連絡協議会に参加して、情報をえている。		今後も積極的に参加していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			制度の知識、理解が不十分である。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを参考に。全職員が意識し取り組んでいる。		研修にも参加して理解を深めていく。

洛和グループホーム久世(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書、重要事項説明書等、文書と高等で説明している。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書の中で、説明している。苦情は苦情窓口を設置していることを、家人に紹介している。国保連にも相談できるようにしている。</p>	<p>面会の少ない家族にも、もっと話し合える機会を考えたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時の体調の報告、月末の金銭関係、チェック表の報告。</p>	<p>独自のGHだよりを充実させていきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に投書箱を用意している。運営推進会議。カンファレンスに参加してもらえるよう声かけしている。</p>	<p>玄関に苦情ボックスも設置している。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月末に、「1、2階の職員で話し合う機会をもつ」。連絡ノートも利用する。</p>	<p>事業所所長、統括とも面談できる機会がある。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要時に職員を増やしたりしている。</p>	<p>1, 2階の職員間の協力</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者、家人、職員の馴染みの関係を大事にしていく。</p>	<p>出来る限り移動をさける。</p>

洛和グループホーム久世(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	まんべんなく研修への参加を声かけていく。	研修情報の掲示、レポートの閲覧
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	洛和会内の研修等で情報を共有する。	同業者との交流がもてる機会をふやしてほしい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	リフレッシュ休暇の利用、有休の利用。組織内のカウンセラーを利用することが出来る。	職員間の和やかな雰囲気を大事にしていく。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個別面談や普段から接点をもち、お互い理解しあえる関係を築く。	必要な知識を提供したり、研修もすすめる。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の見学や、家人からの相談を相談員がうけ対応する。	入居前の様子、サービスを聞き参考にする。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時に家人宅を訪問して気持ちを十分聞き、アセスメントも行う。	常に受け止められるような内部研修も考えていきたい。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家人、職員が連携をとりサービスを見極める		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	無理のないように見守り、安心してサービスをうけてもらえるように援助する。		不安をもたれないよう配慮する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の大先輩として、話をきいたり、入居者本位で活動してもらえるよう支援する。		出来ることを、してもらえるように配慮し活躍できる場をつくる。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、行事参加時に、気兼ねなく話せる関係を築くように心がけている。		事業所内外の様子を職員も周知し、どの方とも話してできるようにする。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるような雰囲気をつくっている。行事外出にも声をかけ、一緒に外出する機会をもってもらおう。		家人面会時に日々の様子を伝える。また、普段の様子をみてもらう。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	過去の話を書いて賛同し現在の生活につなげ、活気ある生活をしてもらう。		馴染みの場所を訪れたり、知人等への
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	常に入居者同士のかかわりには目をむけている。トラブルもあるので、さりげなく、接点を避けたりして配慮している。		共同制作等において、入居者間のふれあいを計ったりして、無理のないように共同生活を楽しんでもらう。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後はHP、他施設にいかれることが多く、関係の継続は難しい。しかし、時折面会に行くこともある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人からの意見や家人からの意見、希望を大事にしている。		家人の思いも大切に、共感できるよう、努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の家人や本人からの報告を周知している。		センター方式の作成、私の姿記入で本人を理解し寄り添えるよう努力する。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の状態観察を職員間で把握している。		変化があれば、個人ノートに記入し対応を検討する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	三ヶ月ごとにカンファレンスを行い、ケアプランの作成をする。		ケアプランの変更、追加を家人に報告、説明する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	そのつどカンファレンスを行う。家族への参加を呼びかけることもある。		ADLの変化等、常に把握しケアの見直しを行うこともある。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	詳細はケース記録に、また、個人的な連絡事項は個人ノートに記入し、全職員が必ず目を通し、情報を共有する。意見交換の場でもある。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	訪問マッサージを利用している。		必要に応じてマッサージ。リハビリを取り入れていく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防訓練、避難訓練を行っている。保育園、小学校から行事の案内をうけ、参加している。		民生委員の方には、運営推進会議にも参加してもらっている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスをうけることはない。		訪問マッサージ、歯科往診を、本人負担でうけている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは運営推進会議で連絡をとっている。南区事業者会議にも出席している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望で入居前の主治医へ受診されている方は3名、訪問看護は9名洛和会看護師に受診。		かかりつけ医で受診されている人が、緊急に他HPに受診される場合は、内服、既往歴等報告する。

洛和グループホーム久世(1階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>洛南HP2名、黄ばくHP1名</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>入院中の方の面会もおこない励まし安心してもらう。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>事業所での研修にも参加して、医療機関からの情報を共有する。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>相談員。看護師と蜜にかかわり配慮している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に気をつけている。	自己の向上をめざしていく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その方にあわせたコミュニケーションを大事にしている。	希望に添うよう支援し信頼関係を築いていく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活を優先している。どんなときに嬉しいのか、不安なのか理解してあげ、寄り添い支えてあげる。	希望どうりにはいかないが、出来る限り支援する。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎月カットやパーマを希望される人、毛染めする人等、声かけも含め支援する。	買い物に行って好きな服を購入する。お化粧品も自らして楽しまれている。マニキュアもたまにしているとよるこばれる。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理が得意な人には出来ることを職員と一緒にする。個人の嗜好も配慮し献立を考える。	気分転換にもなるので、座ったままでもできることをしてもらったり支援する。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	居室に好物の甘いものをおいて好きな時に食べてもらっている。タバコも吸いたい時に吸ってもらっている。	タバコを吸うときも、職員とのコミュニケーションの場である。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりのパターンを把握する。トイレ誘導も他の人に気づかれないよう配慮している。		排泄表の記入により間隔をつかむ。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望にあわせて入浴をしてもらっている。拒否される場合は何日かあくとときがあるが、タイミングをみて声かけている。		自立でない人は二人介助で、出来るだけ安心して入浴してもらえるように支援する。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の希望を尊重し、適した環境をつくってあげる。		夜不眠の人には、適度な休息、昼寝を保障する。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔の生活をふりかえり、得意なこと、好きなことをおもいだし、出来ることはしてもらう。		向き合って傾聴し、訴えを実現できるよう支援する。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小銭の自己管理をしている人とお菓子やタバコを買いに行く。		買い物に付き添い楽しい時間を過ごしてもらう。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、ドライブ、散歩、外気浴等希望に添えるように、支援していく。		決まった人にならず、各人にあった支援をする。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事に希望をとりいれたり、家人への声かけをする。		安全、安心して外出できるように職員の人数確保をしたい。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙をかいてだしたり、家人に電話をしてもらい、安心してもらえるよう配慮する。		手紙、電話ができるよう支援する。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問していただき、居室やリビングでゆっくり過ごしていただく。		馴染みの方の顔を覚える。同時に職員との的確な距離も配慮し良い関係が維持できるようきをつける。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしない。		言葉の拘束に気をつける。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外、施錠しない。		離設の可能性があるので、所在確認を怠らない。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	帰宅願望時、不穏時は見守りを強化する。所在確認と共に徘徊時には、安全と安心を心がけよう。		就寝時の呼吸確認、入浴時自立の人の安全確認
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人の意向と危険性をよく考え、安全と快適に努める。		家人の了解を得て、家具の移動をする。本人に承諾を得てライターを預かっている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個人のリスクを把握し意識を高めていく。		転倒防止のための家具の配置、誤薬防止のためのチェック表を提案している。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	普通救命講習の受講を受けている。	○	定期的にシミュレーションしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導による火災時の非難訓練を行っている。		職員間でマニュアルの確認、訓練をしている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個別にリスクの報告、現状等を報告し、安心して生活してもらえるようにする。		カンファレンスにも参加してもらえよう、働きかけていく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の様子を各職員が観察する。バイタル、顔色、活気等チェックし変化がみられるときは主治医や看護師に報告、相談する。		管理日誌、連絡ノートに記入し引き継いでいき、適切な判断をする。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ファイルを基に全職員が、内容、服薬時間を把握している。内容が変わった場合は、全職員に伝わるよう徹底する。		効果の変動には、細かく観察し記録する。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	チェック表に記入し、気になる場合は主治医、看護師に相談し、薬の量の指示をうける。繊維質のもの等、毎日摂取するよう心がける。		野菜、野菜ジュース、ヨーグルト、寒天等取り入れる。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一日二回以上の口腔ケアに努め、毎月曜には全員ポリデントをする。歯科衛生士による口腔内洗浄も行っている。		一日二回以上ケアができるようにしていきたいが、無理な場合やできない人には、個人にみあったやりかたで働きかけていく。

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人差を把握し、無理なく楽しい食事の中で、栄養に気をつける。チェック表に毎回、食事を記録する。		チェック表を参考に、健康状態にも配慮する。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人としての取り決めをまもり、感染症に関する講習にも積極的に参加する。		マニュアルがある。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品購入の際にも産地や賞味期限に気を配り、保管にも常に気をつけている。調理する者も手洗いの徹底、また、調理用器具も毎日、消毒を怠らない。		生ものには特に気をつける。できるだけ国産の食材を使用する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中は門扉を全開し入りやすくしている。花壇に季節の花を植えてきれいな雰囲気を作っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を活けたり、手作りの置物や写真を飾って和める雰囲気に気を配っている。トイレ、浴室もカーテンや小物入れでプライバシーを守っている。		10日に一回、花やさんから生花を届けてもらい生け花を楽しむ。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル、ソファ、畳を配置し、各々が居心地の良い場所ですごせるようにしている。		テーブルの大小、ローカのソファ

洛和グループホーム久世(1階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔からの使いなれた家具や衣類等、好みにあわせて自由に使ってもらっている。		身体的な機能にあわせて、そのつど、配置等も配慮していく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇は常に作動している。温度計、湿度計を参考に調節している。		加湿器の使用
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、滑り止めの設置、歩行しやすいように家具の配置等行っている。		トイレ、浴室内の安全のため、手すりや手すりにかわるものを今以上に工夫していく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室に表札をかけ、座席には各々の座布団や杖たてで、自分の居場所を認識してもらう。得意なことを生活の中で生かしていけるように声かけや設定を心がけている。		表札、座布団、個人別の食器
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇に花や野菜の種をまいて、開花や収穫を楽しんでもらっている。水遣りや草引きに参加するひとや、出来ない人にはベンチで外気欲もかね、季節感を味わってもらうことができる。ベンチは喫煙場所にもなっている。		入居者と職員で種や苗の購入からを一緒にしている。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

洛和グループホーム久世(1階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)